



# 地域支援センターだより

地域支援センターやわた

## 今年度第1回目の「スキルアップ研修会」を実施しました。

一般社団法人日本ビジョントレーニング普及協会理事の横田幹雄氏をお迎えし、「ビジョントレーニング～子どもの心と体の発達を促し、学習や運動の土台の力を育てる～」という演題で御講演と体験（演習）をしていただきました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、各校1名までの会場参加とYouTubeを活用した期間限定の動画配信での実施となりました。7月29日（金）に本校での講演、8月22日（月）～26日（金）まで、録画配信を見ていただきました。

保・幼、小、中、高等学校、特別支援学校の先生方、その他関係機関の職員の方、そして本校教職員を含めて120名以上の方々に申しいただき、300回近い再生回数の視聴となりました。



研修会では、目の視覚機能を鍛えることによって日常生活や学習の土台となる力を育み、集中力、読み書き、運動といった、さまざまな能力を養う『ビジョントレーニング』について、すべての子ども達に必要な教育プログラムとして、それぞれの現場でご活用いただけるよう、具体的な実践プログラムも含めて教えていただきました。

### ご参加いただいた方からの感想（一部抜粋）

- 子どもの動きのぎこちなさや困っていることなどが、目の能力に大きく関係していることを学びました。  
(保育園・幼稚園・こども園)
- 学習に向かう姿勢の素地作りとして、ビジョントレーニングに積極的に取り組んでいきたいと思いました。  
(小学校)
- 子どもの苦手さの裏には目の機能を上手に使えていないことがあると知っておくことがアセスメントをする上でも大切だなと感じました。(小学校)
- 勉強が苦手・運動が苦手な子どもに考えられる躓きの原因の一つにうまく目が使えていないことがあるかもしれないと学びました。(中学校)
- できる・できていないで判断しがちだが、その裏にこういった要因があるのか探っていくための1つの指標として、本日学んだことを今後活かしていきたいと思います(支援学校)
- 目から入った情報が正しく認識できなければ、理解力・判断力にも影響するのだという視点でも今後は考えていきたいと思います。(支援学校)
- 具体的な練習を体験することで変化を実感できた。高校での効果的な導入が知りたい。(高等学校)
- まずは子どもの発達を科学的に捉え、感覚系を整えること、視覚をトレーニングすることで支援することの有効性に感銘しました。困り感をもつ子どもへの対応の1つとしてのビジョントレーニングが今後学校でも活用してくれることを期待しています。(関係機関・その他)

次回第2回スキルアップ研修会は、大阪教育大学 大学院連合教職実践研究科の准教授庭山和貴氏をお招きして「行動への支援（仮）」というタイトルで御講演いただく予定です。第2回もオンラインでの開催を予定しております。奮って御参加ください。